

【公表】 事業所における自己評価総括表（児童発達支援事業）

○事業所名	OZデイみずまき		
○保護者評価実施期間	2025年2月15日		～ 2025年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年2月15日		～ 2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフ間での人間関係の良さと小規模な事業所ならではの動きやすさ。（様々な取り組みを実施しやすい）	事業所で子どもたちに関わるスタッフとして役職を越えて意見交換をしたり、些細なことでも報告したり、質問しています。また、様々な取り組みや意見を言った際に反映されやすい点もあると思います。	より一層スタッフ間で連携を取り、情報共有を行うためにLINEワークス等を活用していきます。
2	急な利用や送迎の変更に対する柔軟な対応と入浴サービスの提供。	利用予定を組む際に人員配置や時間に余裕を持たせた組み方を心掛けています。また、法人の考え方として可能な限り手厚い対応をしたいと思い、マンツーマン以上の配置を心掛けて採用活動を行っています。（現在スタッフ12名うちパート6名）	今後も必要な職種を適切に配置できるよう心がけるとともに、在籍スタッフや新規採用者が定着しやすい職場環境づくりを法人及び事業所全体で整備していきます。
3	OZクラフトの作品制作及び販売による子どもたちと社会とのつながり。	子どもたち一人ひとりができることを把握し、それぞれのできることを活かしながら作品づくりを行っています。	イベント等への出展等も検討しながら販売場所を増やしていきたいと思っています。また、新しい作品作りも行いながら、販売利益で水族館等への外出も行い、子ども達への還元もしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の老朽化と事業所の狭さ	老朽化については建物の築年数上、ある程度は仕方がないと考えられます。狭さについては今後子どもたちがデイ做するにつれてさらに感じるが増えるのではないかと思います。	今後の子ども達の成長やOZデイみずまきの運営の在り方を法人全体で考え、建物の建て替えや新しいサービスの開始を検討していきます。
2	コミュニケーション支援機器や介助用具等の設備が足りない。	古い家で狭く、柱が多いためリフト等の導入時に動線の確保が難しいため、導入ができていません。また、コミュニケーション支援機器についてどのようなものが必要か、それをどの程度使用できるかというところまで話が煮詰まっていないことが課題です。	今後検討する建て替え等の際にどのようなものが必要かを見越して計画を進めていきたいと思っています。また、コミュニケーション支援機器についても事業所内で研修や話し合いを行い、導入するだけでなく、その後どのように活用するかという点まで煮詰めていきます。
3			